

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 室内間仕切扉用のアルミフレーム開き戸金物です。

仕様

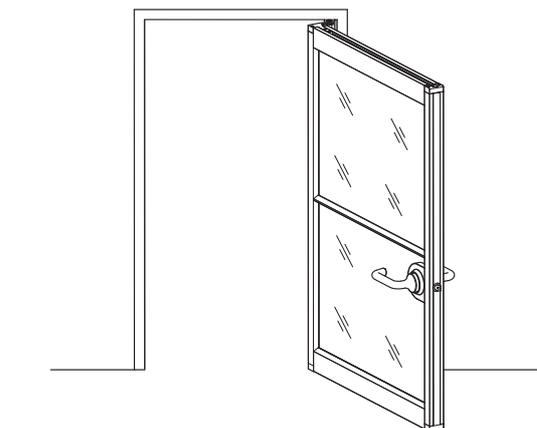
扉幅	900 mm 以下
扉高さ	2200 mm 以下 (棧フレーム無しの場合)
ガラス厚	5 mm または 6 mm
扉質量 (1 枚当たり)	40 kg 以下 (扉 1 枚当たり) ※ ¹

※¹ ガラスサイズは、扉質量を優先して決めてください。

棧フレーム必要数の目安

※ ² 棧フレーム 必要数				
	なし	2本	3本	4本
扉 サイズ	W900×H2200以内 (基本サイズ)	W800×H2500以内	W750×H2700以内	W700×H3000以内

※² ガラス厚 5mm, 扉質量 40kg 時の目安です。



正しく安全に施工していただくために

- 警告・注意
 禁止
 厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- アルミフレームにきずがつかないように、きれいな床面で作業をしてください。
- ガラスは強化ガラスを使用してください。また、飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください(お使い始めから 1 ヶ月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとを目安にしてください)。

部品一覧

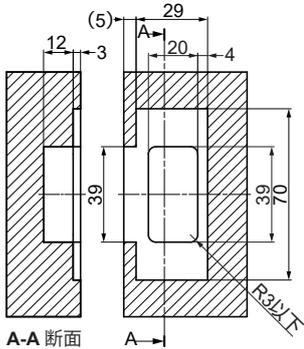
部品構成(扉1枚分)	定尺部品(本数をご指定ください。)	レバーハンドル部品
<p>①ピボットヒンジ(左右兼用) AF-25-P10型</p> <p>①-1ヒンジキャップ:2ヶ</p> <p>①-2ヒンジ:上下各1ヶ</p> <p>②ピボットヒンジ受座:上下各1ヶ</p> <p>③ケース表:1ヶ</p> <p>④ケース裏:1ヶ</p> <p>⑤ケースカバー:2ヶ</p> <p>⑥パッキン:4枚</p> <p>⑦コーナーパーツ:2ヶ AF-25-P04型</p> <p>ハンドルケース AF-25-P06型</p>	<p>⑧縦フレーム:2500mm、3000mm AF-25-W01型</p> <p>⑨横フレーム:2000mm AF-25-W02型</p> <p>⑩横フレーム:2000mm AF-25-W03型</p> <p>⑪ガラスパッキン AF-25-P02型(2500mm)5mm用 AF-25-P15型(3000mm)6mm用</p> <p>⑫横パッキン AF-25-P03型(2500mm)5mm用 AF-25-P16型(2500mm)6mm用</p> <p>⑬目隠しカバー:2500mm、3000mm AF-25-P01型</p>	<p>レバーハンドル(空錠) HCSA138F11型</p> <p>レバーハンドル(玄関錠) HCSA138SF11G型</p> <p>※付属の樹脂製リングケースは使用しません。</p> <p>⑭ハンドル:1セット</p> <p>⑮レバーハンドル取付専用工具:1ヶ</p> <p>⑯レバーハンドル固定ボルト:1ヶ</p> <p>⑰ラッチボルト:1個</p> <p>⑱ストライク:1セット 十字穴付皿タップピンねじ 呼び4×30:2本</p> <p>付属ねじ</p> <p>⑲十字穴付皿小ねじM5×12:4本(ハンドルケースに付属)</p> <p>⑳抜止用六角ボルトM4:1本(ヒンジに付属)</p> <p>㉑抜止用平座金:1枚(ヒンジに付属)</p> <p>扉部組立ねじセット AF-25-DS</p> <p>㉒六角穴付ボルトM6×30:8本</p> <p>㉓六角穴付ボルトM4×30:6本(中棧数量×2本 必要)</p> <p>㉔六角穴付皿ボルトM4×25:12本</p> <p>㉕十字穴付皿タップピンねじ 呼び5×30:8本</p>

納まり図

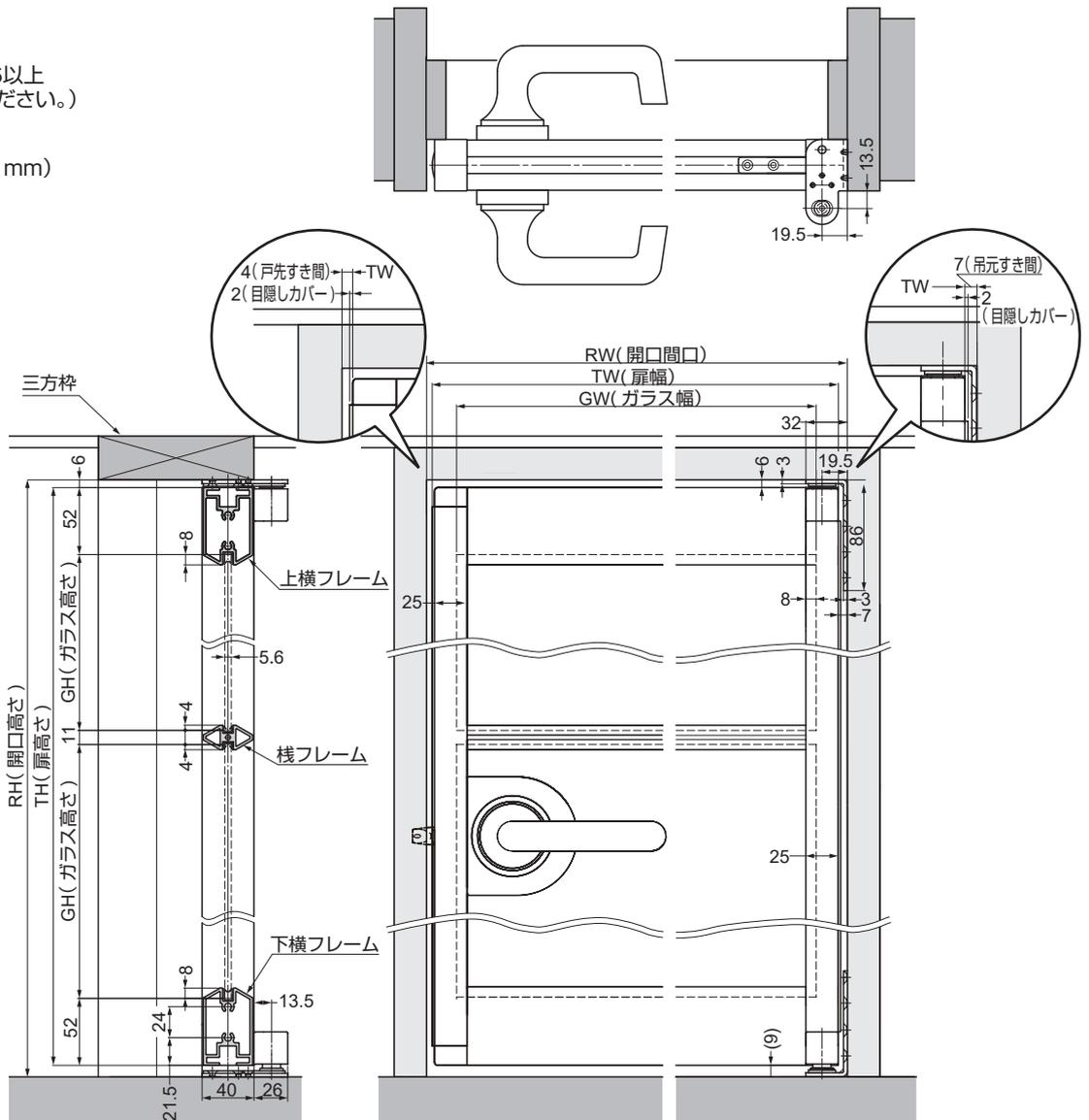
TH(扉高さ) = RH(開口高さ) - 15以上
(扉上すき間: 6mmを基準としてください。)

TW(扉幅) = RW(開口幅) - 11
(吊元すき間: 7mm、戸先すき間: 4mm)

⑱ストライク部加工図

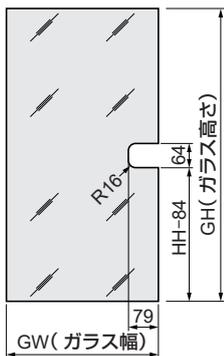
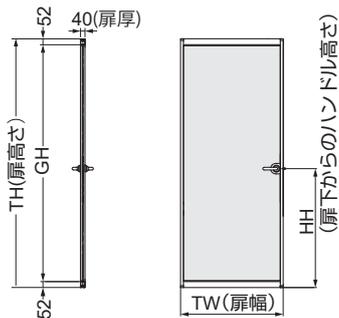


注意
加工前に必ず現品でご確認ください。



部材の加工寸法

■ 棧フレーム無しの場合



GH(ガラスの高さ) = TH-104

GW(ガラスの幅) = TW-34

例. 扉の高さを 2200mm、幅を 900mm とすると

GH=2200-104

GW=900-34

GH=2096mm

GW=866mm

⚠ 注意

- ガラス加工寸法については、ガラス業者様にご相談ください。
 - ガラスはお客様にてご手配ください。
 - ガラスは強化ガラスを使用してください。
- また、飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。

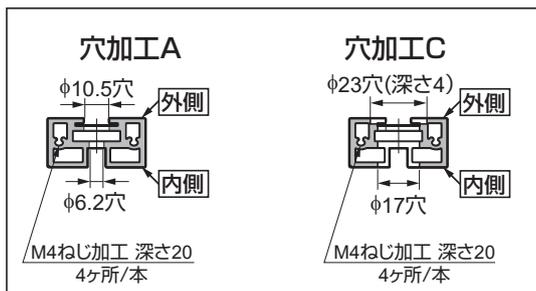
縦フレームの加工

⑩ 棧フレームなしの場合…A穴+C穴

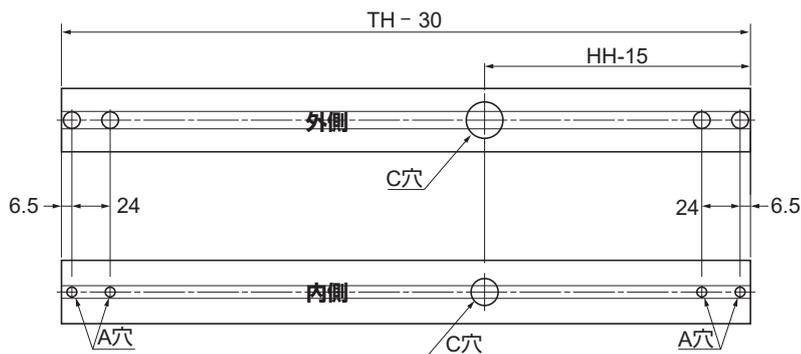
TH=扉高さ

GH=ガラス高さ

HH=扉下からのハンドル高さ

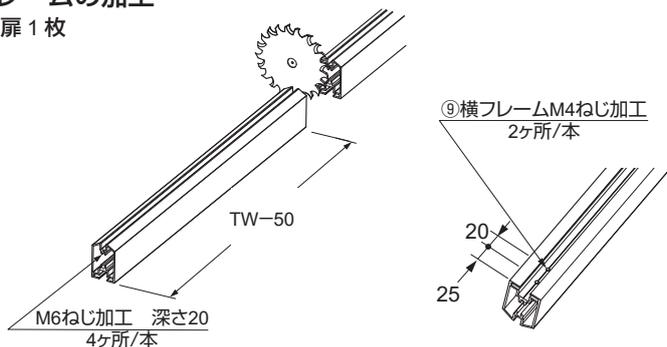


- ❗ フレーム加工の際は防塵めがねを使用してください。
- ❗ ゆがみ、歪み等の原因となりますので、切断面が直角になるように、正確に切断してください。



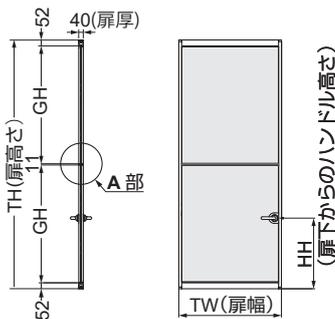
横フレームの加工

2本 / 扉1枚

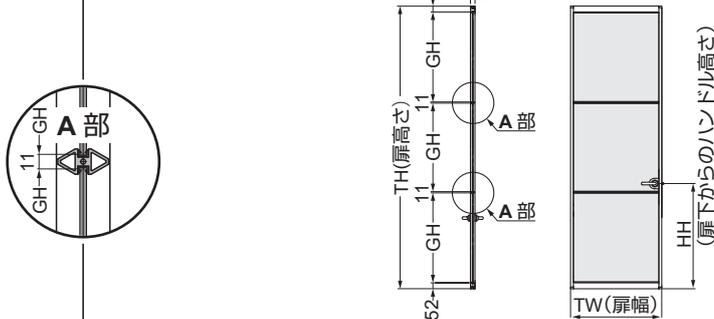


⑨ 横フレームM4ねじ加工
2ヶ所/本

■ 棧フレーム 1 本の場合



■ 棧フレーム 2 本の場合



$$GH(\text{ガラスの高さ}) = \frac{TH-104-(\text{中棧の数量} \times 11)}{\text{ガラスの枚数}}$$

$$GW(\text{ガラスの幅}) = TW - 34$$



注意

- ガラス加工寸法については、ガラス業者様にご相談ください。
- ガラスはお客様にてご手配ください。
- ガラスは強化ガラスを使用してください。

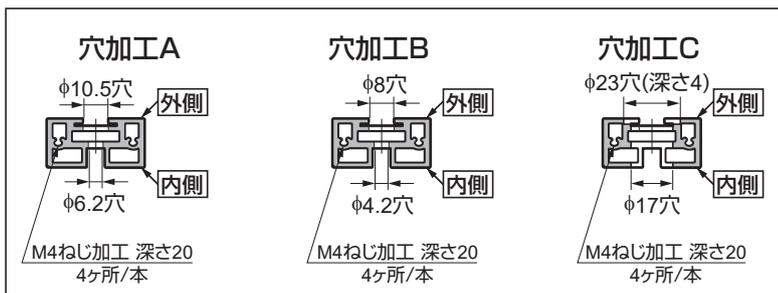
また、飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。



縦フレームの加工

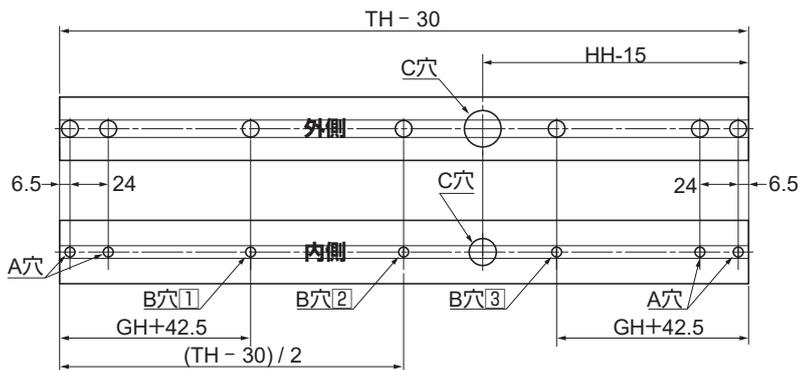
- ⑩ 棧フレーム 1 本の場合… A穴 + B穴② + C穴
- ⑩ 棧フレーム 2 本の場合… A穴 + B穴①、③ + C穴

TH = 扉高さ
GH = ガラス高さ
HH = 扉下からのハンドル高さ



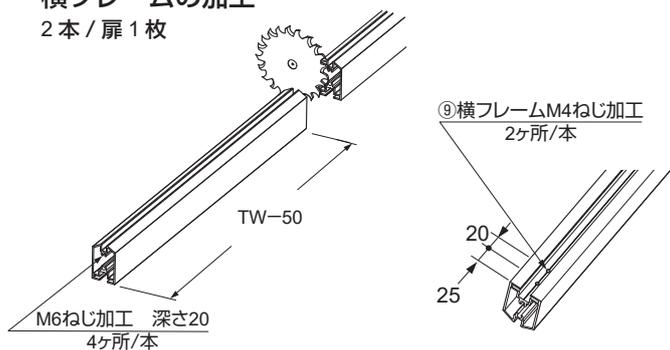
注意

- フレーム加工の際は防塵めがねを使用してください。
- ゆがみ、歪み等の原因となりますので、切断面が直角になるように、正確に切断してください。



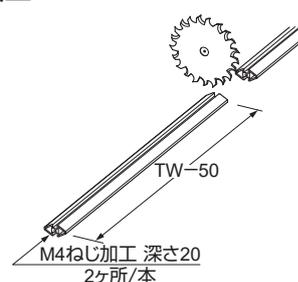
横フレームの加工

2本 / 扉1枚

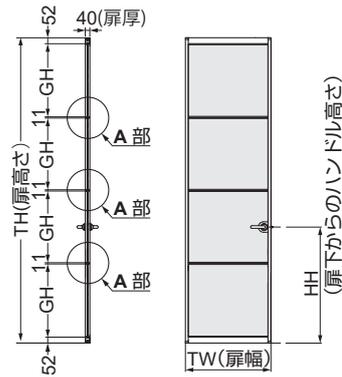


棧フレームの加工

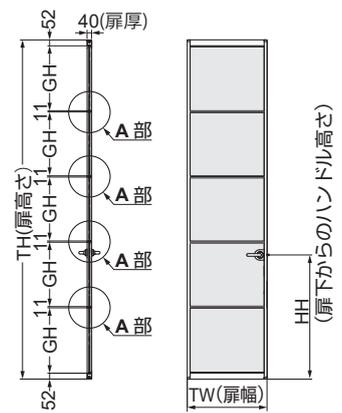
1か2本 / 扉1枚



■ 棧フレーム 3 本の場合

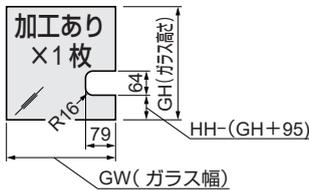


■ 棧フレーム 4 本の場合



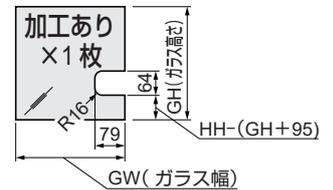
$$GH(\text{ガラスの高さ}) = \frac{TH - 104 - (\text{中棧の数量} \times 11)}{\text{ガラスの枚数}}$$

$$GW(\text{ガラスの幅}) = TW - 34$$



⚠ 注意

- ガラス加工寸法については、ガラス業者様にご相談ください。
 - ガラスはお客様にてご手配ください。
 - ガラスは強化ガラスを使用してください。
- また、飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。



縦フレームの加工

⑩ 棧フレーム 3 本の場合

…A穴+B穴①、④、⑤+C穴

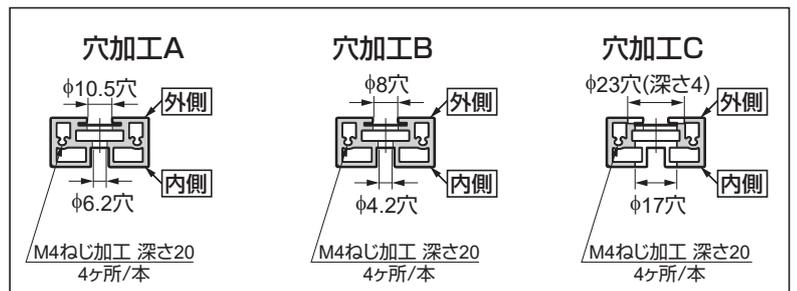
⑩ 棧フレーム 4 本の場合

…A穴+B穴①、②、③、④+C穴

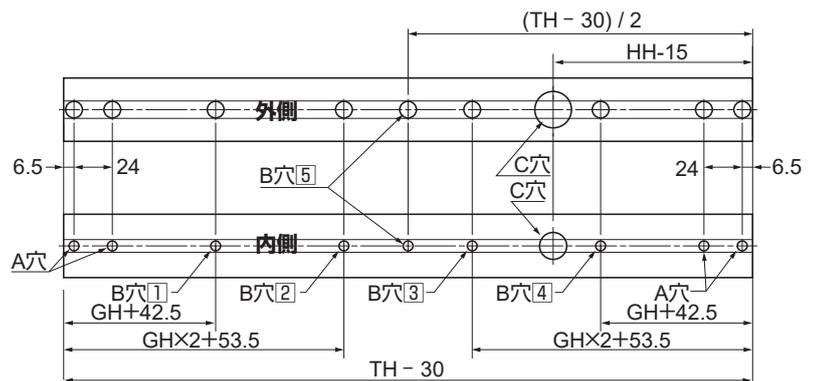
TH=扉高さ

GH=ガラス高さ

HH=扉下からのハンドル高さ

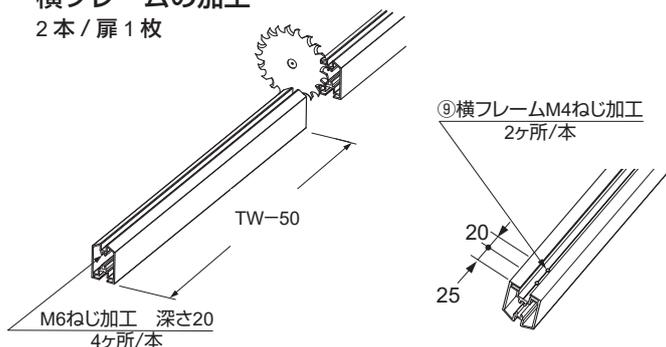


- ① フレーム加工の際は防塵めがねを使用してください。
- ② ゆがみ、歪み等の原因となりますので、切断面が直角になるように、正確に切断してください。



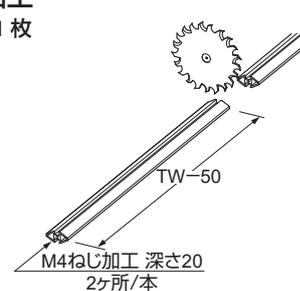
横フレームの加工

2本 / 扉1枚



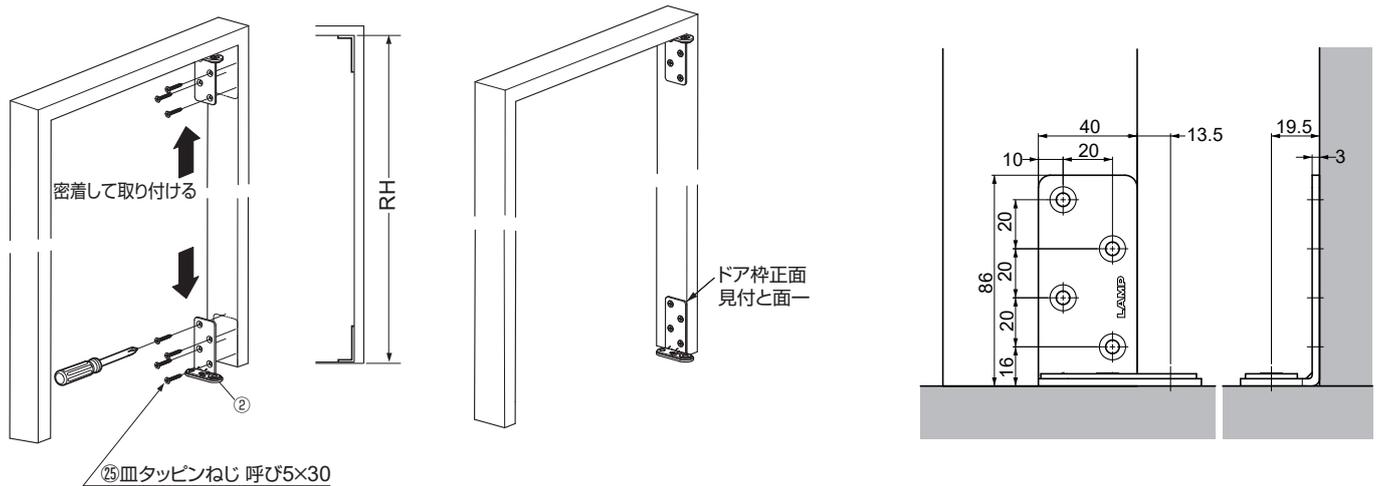
棧フレームの加工

3 または 4 本 / 扉1枚

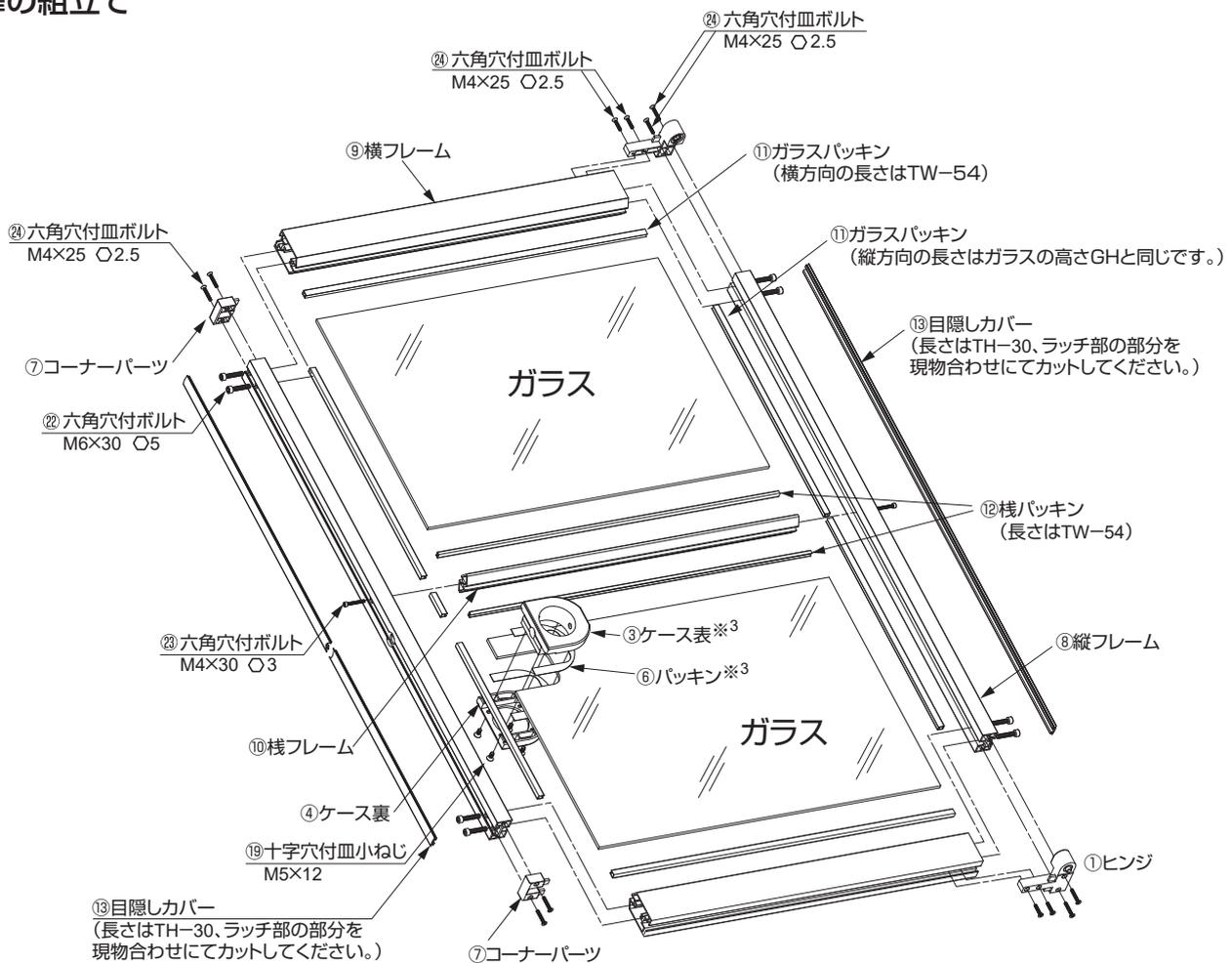


施工手順 ※右吊元でご説明します。左吊元の場合は、ピボットヒンジを上下逆に取り付けてください。

1 ピボットヒンジの受座取付け



2 扉の組立て



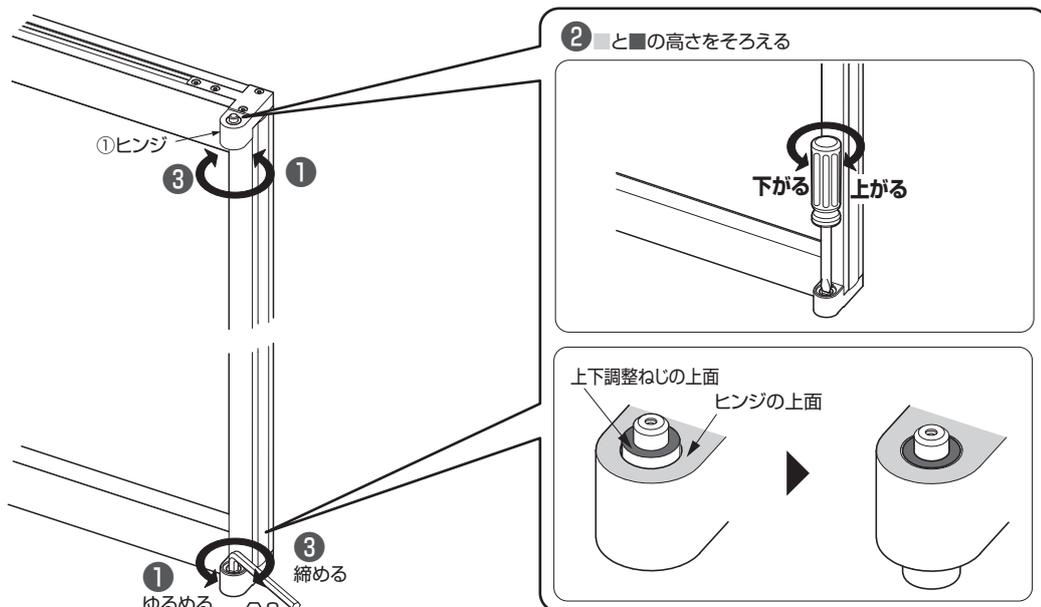
縦フレーム⑧の溝に目隠しカバー⑬をセットする時は、指で少し折りながら押し込んでください。

注意

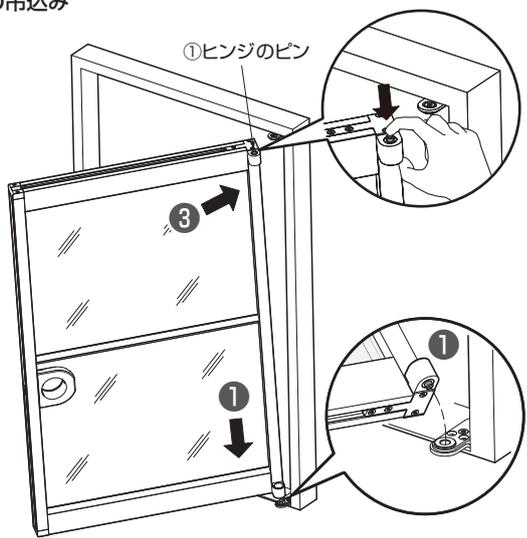
※3

- ・ ケース表③とケース裏④は扉枠を組立て終えてから最後に取り付けを行ってください。
- ・ パッキン⑥はガラス厚が5 mmの時は4枚、6 mmの時は2枚使用します。

[1]

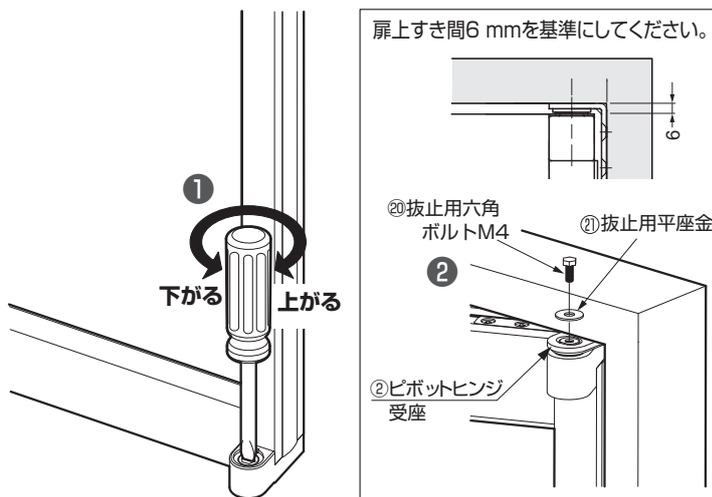


[2] 扉の吊込み



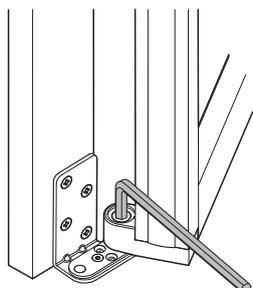
4 扉が外れないことを確認する。
(扉上すき間6 mmを基準にしてください。)

[3] 上下調整



抜け止めの平座金②と六角ボルト②を上部
ヒンジ①-2に取り付けます。

[4] 扉の固定

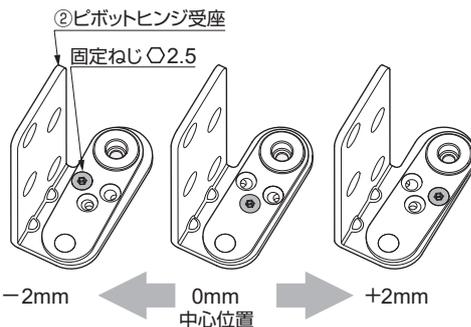


⚠ 注意

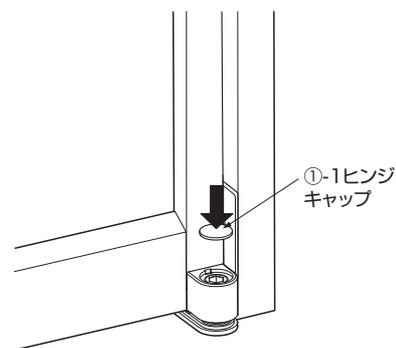
① ねじの締め忘れは扉が外れ、事故につながる
可能性があります。確実に締めてください。

[5] 左右調整

上下のピボットヒンジ受座②の固定ねじを
つけ替えて調整します。

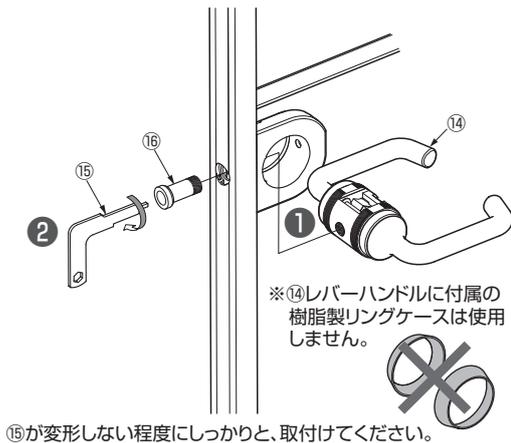


[6]



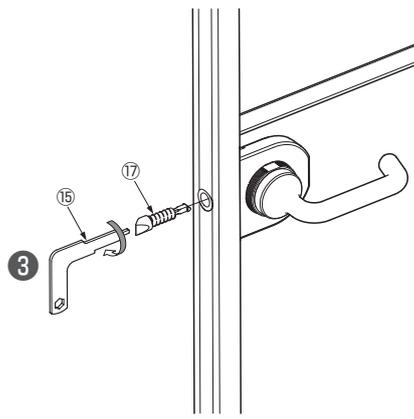
3 レバーハンドルの取付け

[1]

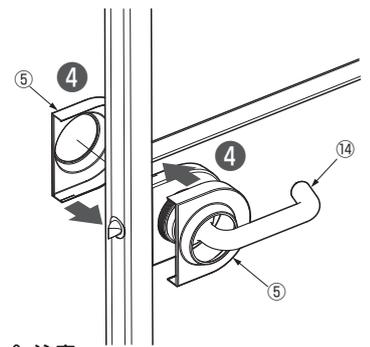


⑬が変形しない程度にしっかりと、取付けてください。

[2]



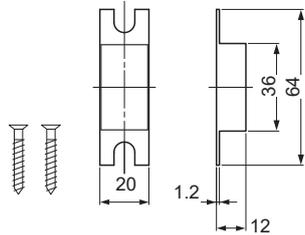
[3]



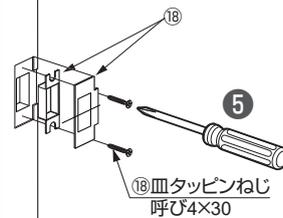
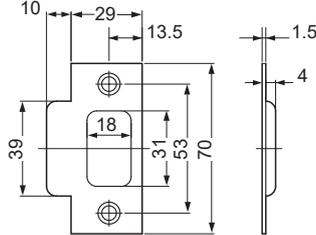
⚠ 注意
△ 玄関錠は、サムターンとシリンダーを取り付けてください。一度取り付けると、外すことはできません。

[4]

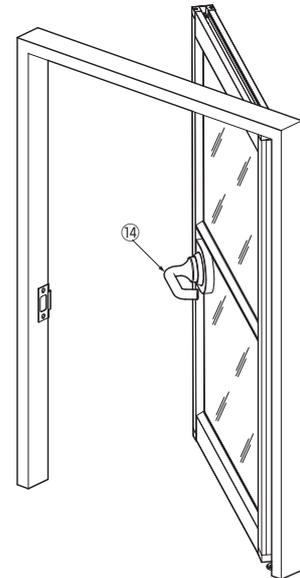
ストライクボックス



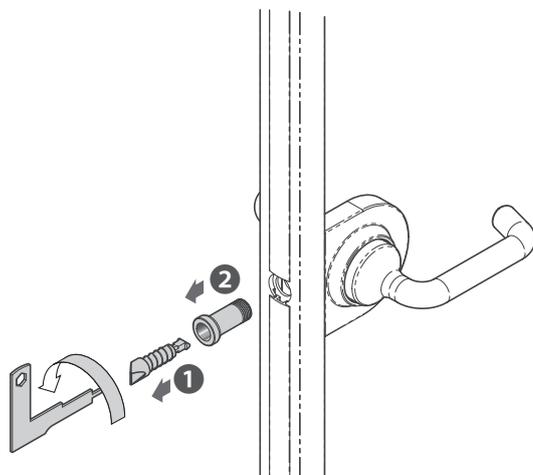
ストライクプレート



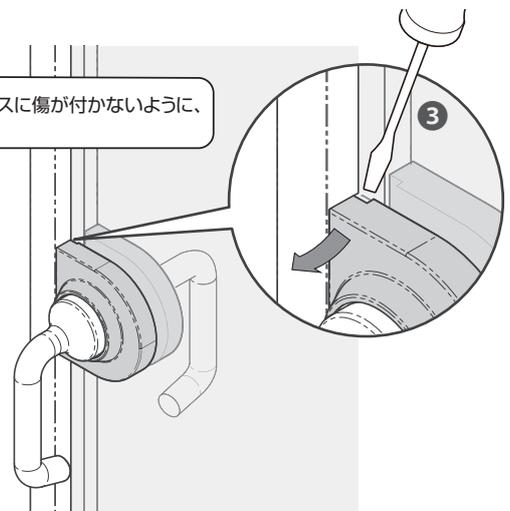
[5]



ケースカバーの外し方



⚠ 注意
△ ケースカバー、ガラスに傷が付かないように、注意してください。



8

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.09. 0135-8